

岡山県議会議員

秋山まさひろ 県議会だより



11月30日～12月21日
令和4年11月 岡山県議会定例会

事務所：〒712-8066 倉敷市水島高砂町1番7号 TEL：(086)448-8833 発行人：秋山 正浩

令和4年11月岡山県議会定例会が11月30日から12月21日までの22日間で開催されました。

今回の定例会におきまして、一般質問に立ち、以下の内容について執行部より答弁を受けましたので、質問・答弁内容の要旨を一部ご紹介させていただきます。

防災・減災の取組について

令和4年度県民満足度調査防災対策編の調査結果について、本年8月に報告書が公表されたが、防災に対する意識が希薄化しているのではないかと考える結果があった。意識の高揚は、切れ目なく継続した取組はもとより、より一層の防災意識の高揚に向けた取組が必要不可欠と考える。本調査結果に対する受け止めおよび今後の取組について、危機管理監に伺いたい。



【答弁】危機管理監

ハザードマップや避難経路等の確認を行っている県民の割合が、被災から4年が経過し、県民の記憶が薄まってきていること、コロナ禍により避難訓練など地域での防災活動が中止されたことが要因ではないかと考えております。今後、防災関係機関や防災協定締結済みの関係団体の知見や協力をいただきながら、効果的な普及啓発を行い、防災意識の高揚に努めてまいりたいと考えております。

水位計等について、

早期の水防活動や住民の避難判断等を支援することを目的に、県としては、水位計を185か所、河川監視カメラを77か所に設置し、洪水時の河川状況等をリアルタイムに提供している。これらの情報が有効に活用されていることから、市町村等と連携を図り、さらなる増設の検討をすべきと考えるが、土木部長の所見を伺いたい。

【答弁】土木部長

県が設置したものに加え、国や市町村と連携し、合計194か所の水位計、167か所の河川監視カメラ画像の情報を提供しております。このうち約半数は、令和2年度までに、市町村等の意見を聞いた上で、増設したものであります。このため、現時点では、水位計等の増設は考えておりませんが、今後、水防活動や避難判断等において、

必要性が生じれば検討してまいりたいと存じます。



要配慮者の避難行動に

ついて、移動への負担が避難行動を妨げる要因の一つとして問題視されており、ガイドラインの改定を受け、要配慮者の福祉避難所への直接避難が進むことに期待をしているが、現在の状況について伺いたい。また、感染症対策も含め、市町村による福祉避難所の確保が必要となるが、設置数および増加に向けた取組について、併せて、保健福祉部長に伺いたい。

【答弁】保健福祉部長

昨年度、県は「福祉避難所設置・運営マニュアル策定ガイドライン」を改定し、市町村は福祉避難所の対象者を特定して公示するなど、直接避難が可能となる体制づくりを進めております。また、福祉避難所の設置数は、本年4月時点、335施設であり、市町村が取り組む個別避難計画策定の支援を行っております。今後とも、避難計画に基づき必要となる福祉避難所の設置を働きかけてまいりますと存じます。



ガソリンスタンドの減少対策等について

本県においては、2村3町がSS過疎地となっており、自家用車や農業機械への給油や移動手段を持たない高齢者への冬の灯油配送などに支障をきたすことから、SS過疎地問題が顕在化するものと考えます。今後の対策および、SS過疎地等、中山間地域での唯一の移動手段である自家用車を今後も利用可能とすべく、併せて県民生活部長に伺いたい。

【答弁】県民生活部長

生活サービス拠点の維持等のための、生き活き拠点強化支援事業等により、地域等が中心となつたガソリンスタンド存続に向けた取組を支援するとともに、生活サービス機能の維持・確保に取り組んでまいります。また、自家用車が唯一の移動手段

段となつている中山間地域においては、各種支援策による取組に加え、自宅で充電できるEVも有効な択肢であり、その活用も含め、自家用車が継続して利用できるよう、市町村等と連携し、取組を検討してまいります。



EVシフトに対応した取組について

連携について、2018年8月、本県と三菱自動車工業株式会社との間で、EVシフトに対応し

た産業の振興と地域の実現を図ることを目的とした連携協定が締結された。自動車産業、EV等を取り巻く環境は大きく変化していることから、新たな取組事項を検討し、より一層、連携を強化していく必要があると考える。知事の所見を伺いたい。

【答弁】伊原本知事

自動車メーカーのEV開発が加速する中、サプライヤー間の競争が激化する。中山間地域での移動手段としても期待できることから、EVシフトへの対応を一層進める必要があると考えております。このため、サプライヤーの技術開発支援やEVの普及促進に加え、今後、開発人材の育成や、市町村と連携した地域課題解決への活用など、三菱自動車工業との連携を強化し取り組んでまいりますと存じます。



普及促進について、現在、EV等の購入補助を行っている市町村を通じ、間接的な補助を行っているが、より一層、EV等の普及促進を図るために、EV等の導入費補助事業を継続して実施すべきと考えるが、環境文化部長の所見を伺いたい。

【答弁】環境文化部長

県内のEV等保有台数は順調に伸びているものの、保有台数全体に占める割合は依然として低く、引き続き普及促進が重要であると考えており

ます。このため、EV車両導入に対する補助についても、引き続き必要な取組であると考えており、より多くの市町村で実施されるよう働きかけるとともに、EVの普及状況や事業効果など、様々な角度から検討した上で、事業の推進を図ってまいります。

充電器設置支援について

EV等を安心かつ快適に使うことのできる充電インフラ環境を整備し、EV等の普及を促進することによって、県内の温室効果ガスの排出抑制を図るためにも積極的な県の支援が必要不可欠と考える。今後、充電器設置における支援について、環境文化部長の所見を伺いたい。

【答弁】環境文化部長

充電利用シーンや今後の普及状況に応じて、充電設備の設置場所や出力、台数などについて利便性の高い充電環境とな

ることが望ましいと考
ております。このため、
県の補助制度について、
要件の緩和を検討するほ
か、導入事例を紹介し、
効果を広く周知すること
としております。また、
新たな推進計画の策定に
ついては検討しており、
県内の充電環境のさらなる
整備促進を図ってまい
りたいと存じます。



**子どもたちの体力向
上について**

体育授業力アップモデ
ル校事業について、本県
では、小学生の体力が低

下傾向にあることから
も、子どもたちの体力向
上に向けた事業が展開さ
れている。令和2年度か
ら、体育授業の改善・充
実に資することを目的と
し実施されているが、評
価および課題と展開スケ
ジュールについて、教育
長に伺いたい。

【答弁】教育長

楽しくて身につく体育
授業への改善や、運動の
習慣化などに向けた実践
研究に取り組み、その結
果、学校全体で子どもの
体力向上への意識が高
まったことで、体力テス
トの合計点の上昇や一週
間の総運動時間数の増加
など一定の成果が見られ
ております。今後は、実
践研究で得られた好事例
をいかに県内に横展開し
ていくかが課題であると
考えており、県内全ての
学校で体力向上に向けた
取組がさらに進むよう、
指導してまいりたいと存
じます。

熱中症対策について、
国のガイドラインでは、
運動は原則中止とされて
いるが、体育の授業の対
応について伺いたい。ま
た例えば、夏の体育の授
業は午前中に行うといっ
た時間割の工夫や体育館
の空調整備など、体育の
授業ができる対策を検討
すべきと考えるが、併せ
て、教育長の所見を伺い
たい。

【答弁】教育長

県教委では、ガイドラ
イン作成の手引きを市町
村教委や学校に周知する
とともに、毎年、熱中症
事故の防止についての通
知を發出しております。
また、体育担当者の研修
会等で繰り返し注意喚起
を図っております。各校
においては、暑さ指数を
はじめ、活動場所の環境
や児童生徒の様子なども
考慮し、運動の強度や実
施可否等を判断しており
ます。対策として、体育
館の空調整備までは考え

ておりませんが、時間割
や活動場所の変更、授業
時の適切な水分補給の徹
底、屋外の休憩用テント
の設置、ミストシャワーの
活用等を行っております。



**おかやままなびと
サーチについて**

おかやままなびとサー
チについて、昨年10月、
県教育委員会は、学びの
コンテンツサイトを開設
した。授業での活用を促
しているが、現時点、授
業で活用した事例はある
のか。また、どのように
活用を推進していくの

か。併せて、教育長の所
見を伺いたい。

【答弁】教育長

本年10月、6年生の理
科の授業を公開し、子ど
もたちや参観した教員か
らは、分かりやすく、学
びが深まったなどの声が
聞かれました。現在、児
童生徒の一人一台端末
にまなびとサーチへの
ショートカットを作成し
少しずつ活用が増えてい
るところであります。引
き続き、コンテンツの充
実に努めるとともに、広
報紙や研修会等で実践を
紹介するなどして、授
業をはじめ、様々な場面
で活用されるよう周知を
図ってまいりたいと存じ
ます。

多くの職業紹介等につ

いて、現在、どんな仕事
なのかを聞いてみたシ
リーズとして、県職員や
飛行機の整備士などの仕
事ぶりを紹介している
が、今後、保育士や看護

師、自動車整備士など、
多くの職業を紹介しては
どうか。また、働くこと
の魅力を感じてもらいた
めに、仕事の様子や工場
見学等を紹介している
が、今後、本県にある多
くの企業を紹介してはど
うか。併せて、教育長の
所見を伺いたい。

【答弁】教育長

子どもたちが自分の将
来の夢に出会うために、
社会には様々な仕事があ
ることを知ることは重要
であると考えておりま
す。今年度は、プロスポー
ツ選手の仕事を紹介する
動画や、ニュース番組が
放送されるまでの制作過
程を紹介する動画等を追
加したところであり、引
き続き、県内企業の皆様
にも協力いただきなが
ら、仕事の内容や、工場
などの職場の様子を紹介
することで、子どもたち
の夢を育むコンテンツの
充実に努めてまいりたい
と存じます。

知事提案説明要旨(抜粋)



新型コロナウイルス感染症関係について

過去最多の新規陽性者数を更新し、医療提供体制に大きな負荷がかかった第7波は、県民の皆様

や患者を受け入れる医療機関を増やすとともに、陽性者診断センターの対応を順次拡大するなど、医療機関の負担軽減を図ってまいりました。

教育岡山山の復活について

学ぶ力の育成につまましては、コロナ禍において校外学習等が十分に

上半期には、昨年度の5倍を超える34万回余りの閲覧数を記録するなど、多くの児童生徒に活用されております。

地域を支える産業の振興について



企業誘致と投資の促進につつまましては、今年度、県内で企業の大規模投資が進み、今月末時点での投資額は1,409億円と

安心して豊かさが実感できる地域の創造について

特殊詐欺につつまましては、前年同時期と比べ、認知件数が増加傾向にあることから、金融機関、コンビニ等と連携した水

交通安全対策につつまましては、交通死亡事故の発生に歯止めがかからず、死者数は前年同時期を大きく上回っております。



※その他の内容等については、岡山県議会ホームページ内にある、議会映像配信をご覧ください。

- 岡山県議会ホームページ http://www.pref.okayama.jp/site/gikai/
議会映像配信 (ライブ中継・録画中継) http://www.okayama-pref.stream.jfit.co.jp/

岡山県 横断歩道でとまるけん!!
みなさん! 横断歩道は 歩行者優先です!
交通安全の交差点で、横断歩道でとまるけん!!